

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088 (広報直通)

2014年4月25日

Hard with Heart 心強く、心やさしく、暮らす家

HYBRID FACIA

ハイブリッドフェイス



外観イメージ

- 家族を守り安心で包む「強さ」と心地よい環境をつくる「やさしさ」を備えた住まい
- 「ソナワリ」「スコヤカ」「ツナガリ」の3つのデザインをコンセプトに開発
- オーバーハングでニューセラミック外壁の質感を強調、スクエアでシャープな外観
- 置屋根が洗練されたファサードデザインを実現、趣のあるまちなみを形成

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 竹中宣雄）は、鉄骨ユニット工法のハイブリッド住宅シリーズに、家族を守る強さと心地よく健やかに暮らせるやさしさを備えた2階建戸建商品「HYBRIDFACIA（ハイブリッドフェイス）」をラインナップし、4月25日に全国（北海道、沖縄県、多雪地域および一部地域を除く）で発売します。

今回発売するハイブリッドフェイスは、主に都市近郊において、40代から50代のミドルファミリーの建て替え層をメインターゲットに開発された住まいです。この世代は、子どもの年代が幅広く、子どもの成長に伴い奥様が仕事を始めたり親の介護が必要となったりするなど、ライフスタイルに様々な変化が訪れます。また、震災以降、住まいづくりにおいては、災害に強い建物構造への関心が高まり、万が一の事態に対する日々の備えの重要性が再認識されています。

ハイブリッドフェイスは、これらの変化やニーズに応えられるように、「ソナワリ」「スコヤカ」「ツナガリ」の3つのデザインをコンセプトに、家族が安心して健やかに暮らせて、かつ、近隣の方々とも寄り添いあえるような工夫や提案を盛り込んでいます。

「ソナワリ（安心をデザイン）」では、鉄骨系ハイブリッド住宅の耐震性の高さに加え、地震エネルギーを最大約50%軽減する制震装置「MGEO-H」の標準採用や太陽光発電システムの標準搭載、「災害備蓄収納」の提案など、災害に対する安全・安心に対応しています。また、2階がせり出し侵入犯がよじ登りにくいオーバーハングをはじめ、断熱性能や防犯性に優れ災害時のガラス飛散防止効果もある「アルゴンガス入り low-e 防犯ガラス^{※1}」や「電気錠」、「録画機能付きテレビドアホン」などを標準装備することで、防犯面にも配慮しました。

「スコヤカ（健康をデザイン）」では、家族が心と身体を健やかに保ち心地よく暮らせる工夫を提案しています。キッチンと洗面所との動線を直線でつなげた「家事ラク動線」により家事効率が向上し、洗面所やトイレなどの水廻りをLDKと連続させた「水廻り一体温熱設計」により家の中の温度差を低減してヒートショック防止にも配慮しました。また、外部からの視線を程よく遮り、光と風の通り道となる吹き抜け「スカイヴォイド^{※2}」を設けた「プライベートバルコニー」は、プライバシーのある休息空間を演出しています。

「ツナガリ（コミュニケーションをデザイン）」では、家族や近隣の方々とのコミュニケーションの場を提案しています。1階リビングの吹き抜けが上下階の気配を感じさせ、タテのつながりを生み出します。また、1階リビングの外部に設けた「コミュニケーションポーチ」は、ウチとソトとを一体的に利用でき、玄関からもつながるため、近隣の方々と気軽に触れ合うことができる交流スペースとなります。

外観デザインは、鉄骨系ハイブリッド住宅ならではのスクエアでシンプルなフォルムに、オーバーハングで2階をせり出し、さらに、三角の置屋根としたことで、ニューセラミック外壁の質感をより一層際立たせています。また、オーバーハングと奥行きのある大型の玄関庇を組み合わせることで、陰影のある豊かな表情を演出しました。

ハイブリッドフェイスは、129.22㎡（約39坪）から161.08㎡（約48坪）まで、設計自由度の高い16のベースプラン（東西反転プランを含む）を用意しました。屋根形状は置屋根を標準設定とし、フラット屋根も選択できます。

※1 アルゴンガス入り防犯 Low-e ガラスは1階部分のみ標準で装備しています。

※2 スカイヴォイドは、フラット屋根の場合には設置できません。

■その他の商品特長

- ・置屋根は、屋根南面に 2.5kW の太陽光発電システム^{※1}を標準搭載
- ・ユニット同士の接合部の柱を取り外し無柱大空間設計を可能にする「スーパービーム工法」により、柱のない広々とした室内空間を実現
- ・家族構成やライフスタイルの変化に対応するスケルトン・インフィル設計により、将来介護が必要になった場合にも柔軟に対応できる「2段階配慮バリアフリー設計」を採用
- ・玄関脇の大型シューズクロゼットや大収納空間「小屋 kura^{※2}」などの豊富な収納の提案により、居住スペースはすっきりと片付き、より広々と暮らすことが可能
- ・「小屋 kura」の一部に、災害時にも自宅での生活を継続できる分量の備蓄品を、まとめて収納できる「災害備蓄収納^{※2}」の設置を提案
- ・熱交換型 24 時間フロアセントラル換気システムおよびプラズマクラスターイオンユニットを標準装備、抗アレル内装材をオプションで用意

※1「太陽光発電システム」はフラット屋根の場合はオプションとなります。

※2「小屋 kura」「災害備蓄収納」は、フラット屋根の場合には設置できません。



コミュニケーションポーチと吹き抜けを設けたリビング



プライベートバルコニー

■「HYBRIDFACIA (ハイブリッドフェイス)」ネーミングの由来

オーバーハングにより、ニューセラミック外壁の質感を強調しつつ陰影を演出した外観デザインが特長的なことから、住まいの顔「FACE」と、建物の正面を意味する「FACADE (ファサード)」の2つの言葉を重ね合わせてネーミングしました。

■商品概要

商品名：「HYBRIDFACIA (ハイブリッドフェイス)」

構造・工法：鉄骨ラーメン構造・ユニット工法

推奨プラン数：16プラン（東西反転プランを含む）

販売エリア：全国（北海道・沖縄県・多雪地域および一部地域を除く）

※販売エリアの詳細は、お近くのミサワホームの各支店まで。

発売日：2014年4月25日

専用サイト：http://www.misawa.co.jp/hybrid_facia/

※販売価格は、販売地域・間取り・仕様などによって異なります。詳細は、お近くのミサワホームの各支店まで。

■参考プラン (43-2SW-1)

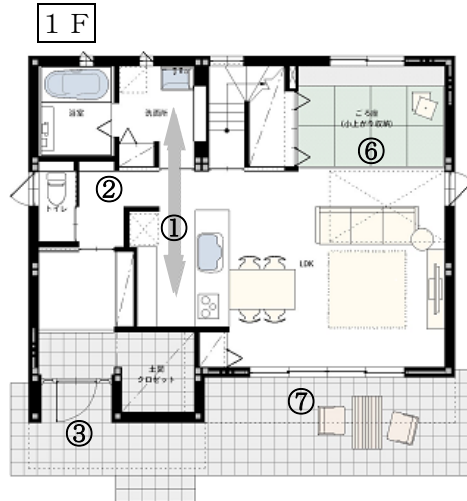
① 家事ラク動線
洗面所とキッチンを直線的にレイアウトし、家事効率を向上します

②水廻り一体温熱設計
水廻りをLDKとつなげ、温度差を低減しヒートショックを防止します

③大型玄関庇
雨の日でも濡れにくい奥行の深い玄関庇は彫りの深い外観を演出します

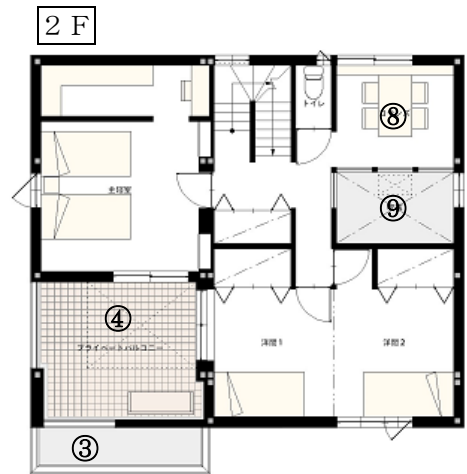
④プライベートパルコニー
開放的なスカイヴォイドと適度な壁に囲まれたプライベートスペースです

⑤大収納空間小屋 kura
かさばる物や趣味の物をたっぷり収納できる大型の収納スペースです



⑥ごろ座付きリビング
ごろりと横になって休息できる小上がりのタタミスペースです

⑦コミュニケーションポーチ
ウチとソトとの一体的な利用が可能で、近隣との交流の際にも活躍します



⑧ホームコモンズ
吹き抜けを通して家族とのふれあいを感じながら勉強できる学びの場です

⑨吹き抜け空間
小屋裏までの吹き抜けて上下階が程よい距離感でつながります

小屋 kura



⑩災害備蓄収納
災害時に自宅での生活を継続するための備蓄品を収納できるスペースです

1F/68.98㎡ 2F/71.70㎡ 延床面積/140.68㎡(42.55坪) 建築面積/76.50㎡

※ 小屋 kura (13.58㎡) は床面積に含まれません (自治体により含む場合もあります)。

※ 2階プライベートパルコニー (12.35㎡) は床面積に含みます。

この件に関するお問い合わせ先

ミサワホーム株式会社 経営企画部 広報・IR課

武田路和 平賀理絵子

TEL 03-3349-8088/FAX 03-5381-7838 E-mail : Rieko_Hiraga@home.misawa.co.jp